

令和5年度 第1回「蔵山地区 白山市ミライ会議」概要

日 時：令和5年7月16日（日） 10：00～11：00

場 所：蔵山公民館

参加団体等：町会長協議会、老人クラブ蔵寿会、交通安全協会蔵山支部、体育推進委員会、蔵山サポーターズクラブ、蔵山を元気にする有志の会、公民館長など

発言【1】

北陸鉄道石川線の存続について、市はどのように考えているのか。石川線を必要とする人のために、鉄道の路線を残してほしい

【市】

北陸鉄道石川線は、大量輸送機関としてその機能を維持していくことは何より重要です。

石川線のあり方の方向性につきましては、今般、北陸鉄道沿線自治体の首長による会議を開催し、バスの運転手不足などを踏まえるとBRT（バス高速輸送システム）化することは困難であることから、鉄道として存続させた上で、利便性を向上させ、より多くの方にご利用していただくための取り組みを、今後検討していくことといたしたところです。

石川線の存続のためには、多くの地域住民の皆様がご利用されることが何より重要となりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

発言【2】

- (1) 蔵山公民館には水の関係やトイレなど、防災機能が充分でない。単なる倉庫の設置のみでなく、防災機能を強化してほしい。
- (2) 集会で公民館の小会議室やホールを利用する際に冷暖房の関係など、集会に不向きな部分があるため、リフォームをして機能的にしてほしい。

【市】

- (1) 本市では昨年度より、災害時に地区の拠点となる公民館に防災倉庫を順次整備しており、完成後は、水や食料のほか、簡易トイレや発電機などの資機材を配備する計画としております。

その他の防災機能の強化につきましては、施設の状況や改修時期などを踏まえ、検討してまいります。

- (2) 現在の小会議室や大会議室を含め施設の多目的な利用が今後も見込まれるこ

とから、誰もが利用しやすいコミュニティセンターとなるように住民同士でも話し合い、工夫していただきたいと思います。

発言【3】

- (1) 博物館に和式トイレがあると聞いた。今後、ジオパークの世界認定によって、観光客が多く来ることが想定されるが、和式トイレなどが残っているなら順次直して行ってほしい。
- (2) 老人関係の団体にスポーツを行う際に、白山郷体育館などでは空調設備の利用料金が非常に高い。利用者の負担を減らすために市に便宜を図ってほしい。

【市】

- (1) 公共施設のトイレの洋式化に関しては順次変更しており、基本的には全面洋式化を進めています。

博物館のトイレにつきましては、令和4年度までに洋式トイレが主体な形に改良いたしました。衛生上の観点から、洋式トイレを遠慮する方の対応のため、男子・女子トイレともに1基は和式を残しております。

観光施設に関しては、現在、休止中の施設を除き、和式トイレのみの施設はありません。指定管理者等の要望・意見を踏まえ、順次整備しております。

- (2) 白山郷体育館や松任総合運動公園体育館、若宮体育館、美川スポーツセンターなどの大きな体育館は、避難所にもなるため空調を整備していますが、空調料金の設定につきましては、市民の一部の方が利用に際してサービスの提供を受けるもので、受益者負担として利用料金の見直しを行い、令和3年度から改定を行ったものになります。

なお、料金設定につきましては、令和2年の電気料金を基に算出したものであるため、昨今の電気料金上昇までは反映されていない状況です。市民の方に安全・安心に利用いただくための、施設の維持管理や環境整備には多額の費用が必要であることから、今後も施設改修などの際には受益者負担の考えのもと、料金設定を行っていくことが重要だと考えています。利用者の方には、これまでの料金より使用料が増額となりご不満もあるかと存じますが、ご理解をお願いいたします。

発言【4】

町内会長の業務量が多い。少しずつ改善していく必要があるのではないかと。

【市】

町内会は住民自治の根幹をなすものと考えており、その上で今後は、本市が進める新しい地域コミュニティ組織の担い手として、その役割の重要度がさらに大きくなると認識しております。

また、行政と住民が一体となって協働のまちづくりを進めるためには、市と町内会とがより密接に関わり連携していくことが必要であると考えており、今後もご協力をお願いする場面は多くあると思います。

しかしその一方で、町内会長への負担の軽減につきましては、見直せるところはできる限り見直してまいりたいと考えております。

発言【5】

- (1) 白山手取川ジオパークに関して、ジオツーリズムを通じて新たな収入源を生み出すとされているが、白山市に飲食・宿泊施設、遊ぶ所など観光客向けの場所が少なく感じる。
- (2) 高齢者は、認知症や寝たきりになったらどうするかの不安と、要介護状態になった場合の費用面の心配が大きいと思う。
- (3) 市の資料にある安全・安心に暮らせる地域とは、具体的にどのようなものか。

【市】

- (1) 修学旅行などの団体の宿泊や食事の対応ができる施設は少ないですが、金沢市から加賀・福井方面に向かう時白山市を素通りすることなく、市内のジオパークスポットに立ち寄り、自然や歴史文化を学び、体験をしていただけるようプロモーション会議（商談会）でPRしています。

今後も観光誘客に努め、地域の賑わいに繋げていきたいと考えております。

- (2) 本市では、高齢者人口の増加や高齢化率の上昇を見据え、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと元気で暮らし続けられるために、市と地域包括支援センターが連携し、様々な介護予防に関する事業に取り組んでいます。

具体的には、フレイル（加齢により心身が衰えた状態）予防に重点を置いた介護予防体操の場づくりや、介護予防に関する講座の開催、介護予防サポーターの養成、市民主体の通いの場やふれあいサロンなどの整備と拡充などになります。

特に近年では、市民の認知症に対する不安の声は大きいと認識しており、市内に26カ所の認知症相談窓口を設置しています。

また、相談内容に応じて、地域包括支援センターが専門職と連携し各種サービスの紹介、家族支援を行うなど、早期からの支援体制を構築しています。

本市では、介護保険サービスのみでなく、市独自の介護保険外のサービスも充実することにより、医療や介護に係る費用がかさむことのないよう取り組んでおります。

- (3) 例えば、安全・安心という部分に関して、最近市でも起きた特殊詐欺の被害の発生などに関して対応するために、固定電話機に取り付ける「AI 自動通話録音機」の設置補助または「自動通話録音機」の貸出しをし、犯罪に巻き込まれない形を目指しています。

発言【6】

- (1) 学校の給食費の無償化を実現してほしいと思っている。現在の日程や予定を知りたい。
- (2) コミュニティスクール化が進んでいるように感じる。地域で協力しながら学校の子どもたちのことを考えていかなければと考えている。
しかし最近地域の方が子どもに声かけすると、学校に通報され不審者メールとして出回ってしまうという状況もあるため、声掛けや世話などがしにくいという意見も聞く。市としてはこうした状況の中で地域の見守りに関して、どのように考えているか。
- (3) コロナ過から現在まで、不登校の子や教室以外の場所で授業を受ける生徒がたくさんいるが、市としてどう考えているか。

【市】

- (1) 学校給食の無償化については、現在市では、財源の確保にむけて事業の見直しを行っているところです。具体的にいつからの予定は未定ですが、できるだけ早期の導入を目指しております。
- (2) コミュニティスクールの進捗状況については、令和4年度に小学校で蕪城小と美川小の2校で導入しました。今年度は残りの小学校で、また来年度は中学校に導入し市内全校での設置を目指しています。

日頃ご協力いただいている地域の見守りに関しても、コミュニティスクールの設置でより地域と連携し、ともに子どもたちの安全について取り組んでまいります。

また、地域の見守り活動は、通学路に立つことによる子どもたちの安全の確保と同時に、子どもたちと地域の住民が顔の見える関係をつくることによる安心感の向上にあります。子どもも含めた地域の一体感の醸成のためにも、今後とも見守り活動等を通じて住民同士の信頼関係を築いていってほしいと思いま

す。

- (3) 学校に行けない児童生徒への対応として、白山市教育センターがあります。専門的な臨床心理士や教員免許を持った職員が配属されており、そこで勉強をする時間は学校の出席と扱います。図画工作や家庭などだけでなく国語、算数、理科、社会なども勉強できます。

教室に入れない生徒に対して中学校では、相談員を配置し、別室で対応しています。

市としては、不登校は喫緊の課題としてとらえており、「不登校対応マニュアル」を作成し、欠席1日目から対応することなど、市内の学校に対して指導を行っております。毎月の欠席状況や、対応方法等についても確認し、状況に応じて助言等を行ない、場合によってはケース会議等を開き、学校や外部機関と一緒に対応方法について検討を行っております。

一昨年は、市内の相談機関等をまとめた教育相談のリーフレットを作成し、市内の全児童生徒に配布しました。

また、学校が子どもたちにとって魅力あるものになるよう、授業改善等についても指導を行っております。

発言【7】

5年度予算重点事業資料の中に、公共交通の充実と西松任駅に関する記述があったが、今後北陸鉄道石川線について具体的な方向性が決まった際には、こういった資料において今年来年のうちに周知してもらえらるだろうか。

【市】

北陸鉄道石川線のあり方の方針を決定するために「北陸鉄道線のあり方に関する沿線首長会議」が8月30日に開催されました。この会議における協議結果を市民の皆様に対して周知することが必要となりますので、今後、周知の方法等を検討したいと思います。

また、この首長会議は報道関係者に公開されましたので、新聞・テレビ等においても取り上げられております。